

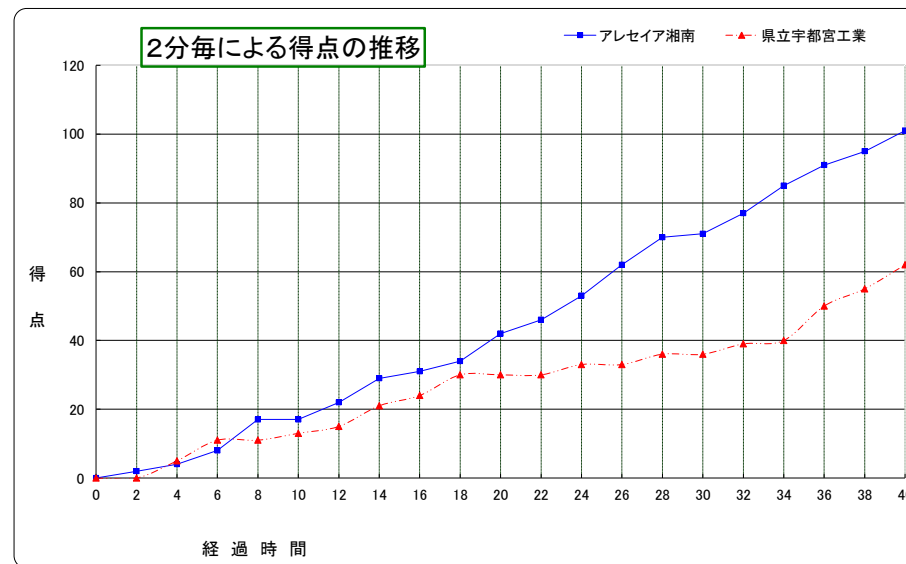
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
春日部ウイングハット
1回戦

チームA	101	{	17	1st	13	}	62	13
アレセイア湘南 (神奈川)			25	2nd	17			6
			29	3rd	6			26
			30	4th	26			
								チームB
								県立宇都宮工業 (栃木)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	更科 幹	21	3	7	5	13	2	2	0	3	4	3	3	0	1
5	草柳 陸	4	0	4	2	4	0	0	0	4	0	5	4	0	2
6	キング 開	13	1	4	5	15	0	0	0	3	5	0	0	0	0
7	エマニエルオヌアブチ	15	0	0	7	10	1	3	2	9	9	1	0	0	2
8	畑 遼平	1	0	1	0	2	1	2	1	3	1	2	1	0	0
9	萩野慎太郎	4	0	4	2	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0
10	菅澤 翔斗	6	0	3	2	3	2	2	3	4	1	4	4	0	2
11	高橋 憲	8	0	0	4	6	0	0	1	2	0	1	2	0	1
12	長谷 海図	11	0	1	4	6	3	4	3	5	3	0	2	0	4
13	清野 盛男	6	2	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
14	畑山 太誠	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15	杉山 碧	8	0	0	3	10	2	4	1	6	4	1	1	1	1
16	本田 大河	4	0	4	2	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0
17	豊田 智己	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
18	望月 瑠星	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	小田 島 誠	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	0	0	1
	確率	101	6	38	36	75	11	17	14	46	32	20	19	1	14
				15.8%		48.0%		64.7%		計	78				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	小野恭士朗	14	2	14	3	5	2	4	2	0	3	2	5	0	5
5	牛若 巧	0													
6	相馬 俊介	16	1	1	5	6	3	3	2	1	6	2	1	0	7
7	三原 広大	0													
8	長濱 聡	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1
9	増田 翔太	0													
10	齋藤 愛樹	0													
11	春山 歩夢	10	3	10	0	0	1	2	2	0	2	2	3	0	8
12	小島 優生	13	3	7	2	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1
13	宇梶 温哉	7	2	7	0	2	1	2	3	2	5	1	7	0	8
14	塩野 貴也	0													
15	伊藤 柊太	2	0	0	1	1	0	0	5	0	4	0	0	0	0
16	佐藤 教平	0													
17	柏倉 雅也	0													
18	鈴木 雄太	0													
コーチ	千 村 隆	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1
	確率	62	11	39	11	17	7	11	16	4	25	9	16	0	31
				28.2%		64.7%		63.6%		計	29				



戦評

試合開始、両チームともゾーンディフェンスから始まり、アレセイアの#5が勢いよくシュートやドライブ、リバウンドにと動き回る。対して宇都宮工業の#6のステップインや3pシュートなどで応戦する。アレセイアのインサイド陣に対し、宇都宮工業は人数をかけて寄りの速いディフェンスでペイントエリアでの攻防を制していた。1Qは宇都宮工業のチェン징ディフェンスから、#4、#6、#13がアウトサイドシュートを沈めれば、アレセイアは#15のインサイドの粘り強さや、#4のドライブからの合わせなどで得点を重ね、13対17と4点差でアレセイアがリードしていたが、お互いに展開の速い攻防であった。2Q、アレセイアはアウトサイドのシュートが思うように決まらないうえ、徐々にリズムが取れてきたインサイドの#7、#15のリバウンドシュートや#4、#6の鋭いドライブなどで得点していく。対する宇都宮工業は、2Qはじめに#6の3pシュートが決まり、プレスを仕掛けるが、ファールにより苦しい時間帯となる。しかし、#12が2本、#13が1本などの3pシュートを決め対抗する。アレセイアは、メンバーチェンジ後オールコートにディフェンスを変更するが、宇都宮工業の速いオフェンスやディフェンスに対応が遅れ、宇都宮工業が得点を重ねる。我慢の時間でアレセイアの#4の3pシュートや#7のリバウンドシュートが軸になり、42対30でアレセイアのリードで後半へ折り返す。3Q、宇都宮工業はディフェンスをマンツーマンに変更し、ボールを取りに行くのに対し、高さで上回るアレセイアがリバウンドなどでファールを誘い、フリースローが増える。宇都宮工業は速い展開からシュートを狙い、#4、#12の3pシュートを決める。しかしアレセイアのインサイドに少しずつボールが入るようになり、インサイドの得点に重ね、#13の3pシュートが連続で決め、36対71と点差をはなす。4Q、宇都宮工業は一生懸命足を動かし、#11のドライブや、連続3pシュートなどで得点し、終盤でも運動量をもって、粘り強いディフェンスを行いターンオーバーをとりに行く。アレセイアも全体のサイズを下げて、オールコートをしかけ対応する。外中の連携が取れ、リズムが良くなってきたアレセイアは徐々に点数を重ねる。最後まで粘り強さを出し続けた宇都宮工業に対し、101対62でアレセイア湘南が勝利した。

記入者: 金谷 豪

Ref	丸山 淳	1st U	能勢正弘	2nd U	
-----	------	-------	------	-------	--